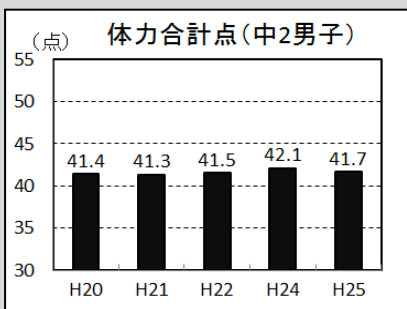
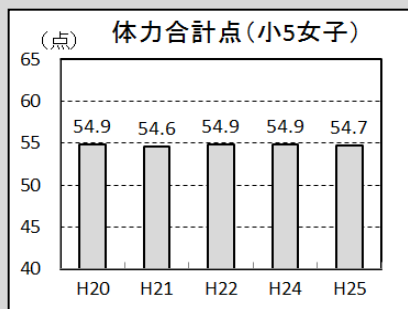


平成26年度東京都児童・生徒体力・運動能力等調査結果について

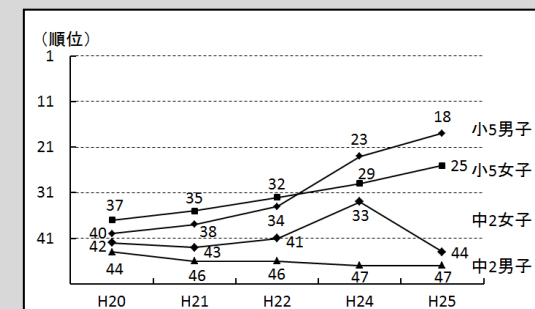
- 1 **【調査の目的】** 児童・生徒の体力が低下している状況を踏まえ、下記の内容を目的として体力調査を実施する。
- (1) 東京都の児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、児童・生徒の体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 2 **【調査の期間】** 平成26年4月から6月までの間
- 3 **【対象児童・生徒】** 小学校第1～6学年 児童 10,171人 中学校第1～3学年 生徒 3,868人

4 **【全国と東京都の状況】** ※「東京都の児童・生徒の体力の状況について」平成26年9月教育庁指導部配布資料より

① 全国の状況(※平成23年度は、東日本大震災のため中止)



② 47都道府県における東京都の順位



(2) これまでの体力向上の取組による成果とその要因について

① 中学校において、持久力の向上が見られる。 → 「持久走」

- ・ 授業において、筋力トレーニングやランニング等の運動負荷を変化させ、体力の向上を図っている。
 - ・ 体育の授業以外でも教育課程に位置付けて取り組んでいる。(一校一取組, 一学級一実践)
- 具体的な取組例・・・朝のランニング週間の実施や20分間の早朝マラソン等
「記録賞」や「時間達成賞」を全校朝会で表彰

② 走力の向上が見られる。 → 「50m走」

- ・ 体育の授業を通して、腕の振り方や足の運び方等、走り方の指導を徹底している。
 - ・ ランニング, リレー, 鬼遊びなど、走ることを意識した運動を多く取り入れた授業を実施し、日常化につなげている。
- 具体的な取組例・・・休み時間等に、鬼遊び等を取り入れた走る動きのある遊び
陸上競技におけるスタートダッシュや球技での攻防の切り替えなどの練習

【全国の状況】 ●平成20年度から体力合計点(8種目・80点満点)は、小学5年・中学2年男女全てにおいて、大きな変化はない。●握力, ボール投げが低下している。**【東京都の状況】** ●東京都の小学5年生は、男女ともに全国と同水準まで向上している。●中学2年生は、男女ともに低水準である。

【調査結果から明らかになった課題】

- ① 小学校は向上傾向にあるが、中学校は昨年度と比べ横ばい又は低下しているため、有効な手立てが必要
- ② 全校種において、ボール投げが低下しているため、タイミングよく力を発揮する能力を高める対策が必要
- ③ 運動に苦手意識をもつ児童・生徒が増加しているため、体を動かす楽しさや意欲を高める対策が必要
- ④ 運動しない児童・生徒が年齢とともに増加しているため、日常生活習慣の改善が必要

【東京都における今年度の重点的な取組】

- ① 中学校の体育授業において、効果的な補助運動を行うための教員研修を実施
- ② 脳と体を調整し、運動意欲を高めるコーディネーショントレーニングを実践する学校を支援

5 **【調布市の結果の分析と考察(調査結果は、裏面資料を参照)】**

(1) 調査結果から分かった課題とその要因について

- ① 筋力に課題がある。 → 「握力」, 「上体起こし」
 - ② 敏捷性に課題がある。 → 「反復横跳び」
 - ③ 投力に課題がある。 → 「ボール投げ」(※小学校はソフトボール, 中学校はハンドボール)
 - ④ 持久力に課題がある。(小学校) → 「20mシャトルラン」
 - ⑤ 中学校女子における運動能力の低下が顕著である。(8種目中5種目に課題が見られる。)
- ・ 遊び場の減少やゲーム機器の普及等により、子どもたちが、外で遊ぶ機会が減少していることが考えられる。
- ・ キャッチボールをする経験が、少なくなっていると考えられる。
- ・ 調査の実施方法が十分理解されないまま調査を実施し、子どもの運動能力が十分に発揮されない状況で、記録をとっていることが考えられる。(低・中学年における20mシャトルランで、走るペース配分)

6 **【調布市における体力向上の取組】**

(1) 子どもの体力向上を図る授業改善

- めあてを明確に提示し、子ども一人一人の能力が十分に発揮できるような場を設定することで、子どもの達成感を高める。
- 授業における指示の出し方を工夫し、子どもが効率よく体を動かすことで運動量を確保する。

(2) 体力向上に向けての「一校一取組」, 「一学級一実践」の推進

- 授業以外での子どもの運動機会を意図的に設定する。
 - ・ 平成25年度体力向上推進優秀校の実践例
石原小学校：10月のマラソン週間に加え、マラソン大会を実施
12月から1月にかけて、縄跳び週間としてクラスや縦割り班での取組
 - 第七中学校：コーディネーショントレーニングの指導を取り入れた授業の推進

(3) 年間3回の体力向上推進委員会の開催

- 体力向上推進委員会において実技研修会を開催し、各学校の授業改善に生かす。
 - ・ 実技研修会の実施(10/10 コーディネーショントレーニングの指導について)
 - ・ 各学校の体力向上の取組状況について情報交換(年間1回)

(4) 調布市小・中学校体育研究会の連携による取組(年間2回:10月と11月)

(5) 中学校2年生の東京駅伝大会への参加

(6) オリンピアン・パラリンピアンの学校派遣事業「一日校長先生」への参加